



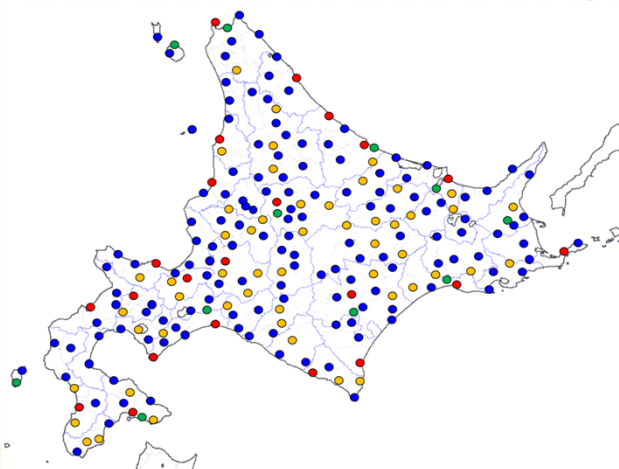
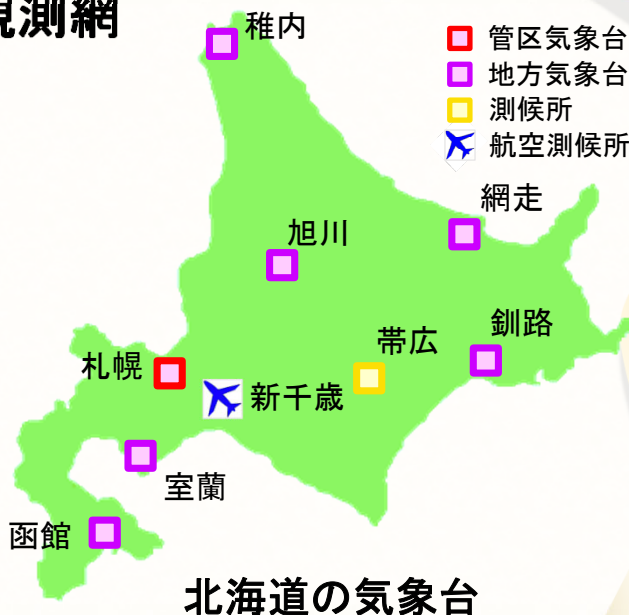
札幌管区気象台 150年の歩み

札幌管区気象台とその業務①

北海道の気象台と充実した観測網

札幌管区気象台は、北海道地方の気象業務を管轄しており、北海道内の地方気象台、測候所・航空測候所と共に北海道とその周辺の自然現象を24時間観測し、気象・火山に関する警報や地震・津波に関する情報、航空機の安全運航を支える情報を発表しています。

道内では、226のアメダスなどの気象観測点、337の震度観測点、27の津波観測点、9つの常時観測火山に設置している108の火山観測点などを使って、さまざまな自然現象を観測しています。



●:気象官署(22)

※特地含む

●:四要素観測所(141)
(雨・気温・風・湿度)

※湿度観測点は84か所

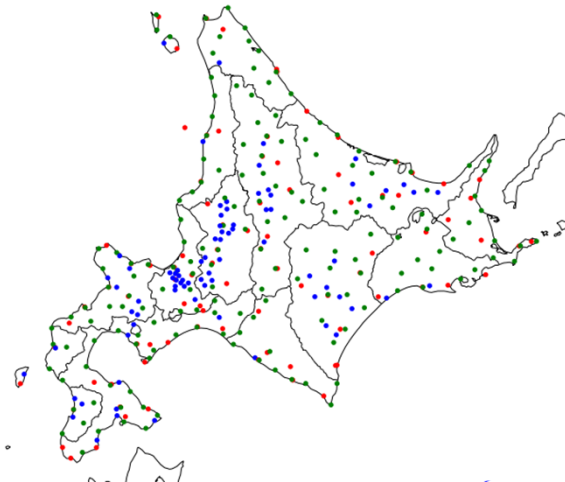
●:三要素観測所(11)
(雨・気温・風)

●:雨量観測所(52)

北海道の気象観測点

※令和7年4月1日現在

※カッコ内は地点数



●:気象庁(88)

●:自治体(80)

●:防災科学技術研究所(169)

北海道の震度観測点

※令和7年4月1日現在

※カッコ内は地点数

